

深津人事課長を囲んで昼食会へのお誘い

女性部では、人事課長を囲んでお昼を食べながら気軽な意見交換ができる昼食会を今年も行います。

人事課長を囲む会は、組合女性部が世話人を担当しますが、組合員・未組合員にかかわらず全女性教職員に呼びかけています。事務局人事課はちょっと敷居が高いところと感ずますが、人事課長とまぢかに接する機会はなかなかもてません。この会では、私たちが日頃感じていることを気楽にお話しできる場にしたいと思っています。

昼休み時間の短い時間ですが、未組合員さんもお誘いいただき、多数のご参加をお待ちしています。

職場のみなさん!!どうぞ誘い合って、ぜひ、来て下さい

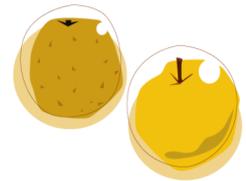
日時：10月5日(月) 昼休み 12:00-12:45

場所：角間組合事務所 お弁当準備します。

参加費は無料です。

申込締切：10月2日(金)

内線2105、直通262-6009



登用試験に向けての交流会

非常勤職員からの事務職員登用試験は、今年も10月18日(日)に実施されます。制度ができて、今年で4回目です。法人化後の事務職員への期待がとても高まっています。常勤職員への道が開かれる、このチャンスを大いに活かしましょう!!

ぜひ、この制度を活用して常勤職員が誕生できるよう、組合は応援してきたいと思っています。

これまで受験された方々も初めての方も、お気軽にお集まりください。

日時：9月17日(木) 昼休み 12:00-12:45

場所：角間組合事務所 お弁当準備します。

参加費は無料です。

申込締切：9月15日(火)

内線2105、直通262-600



7. 17 「非常勤職員と年金」学習会に参加して

なんだかんだと問題になっている年金ですがそれでも年金は老後の支えとして漠然とあてにしていました。しかし学習会で実際にもらえる金額を計算していただいたり、既に受け取っていらっしゃる非常勤の方のご報告を聞いて、その少なさにビックリしました。どうやらこの国のシステムは夫を勤め先で選ばねばならないようです。今巷で流行っている「婚活」はその点では当然の行動なのかもしれません。

幸福ならば子供や連れあいの協力で老後を暮らすことは可能です。しかし、そうはいかなくなる可能性は誰にもあります。身内がカバーしきれないことも起こるでしょう。今回の勉強会で、今の非常勤の条件ではまじめに仕事を続けても安心出来る老後はない、ということを知りました。賃金が安く、ボーナスがないということは老後の生活の差にもつながっているのですから、よりいっそう真剣に考えねばならないと思いました。(B)

9.5 全大教 教研集会「男女共同参画」分科会参加記

静岡大学にて開催された、全大教教研集会5日の「男女共同参画」の分科会に参加してきました。全大教女性部長の挨拶からはじまり、各大学の取り組みを多くの方々に報告していただきたいと多彩に企画され、交流がたくさんできたらの熱い思いが伝わってきました。特に印象強かったレポートについての報告と感想です。

静岡大学からは、現在女性部はありませんが、1960年代から70年、80年代の青年婦人部の取り組みを「婦人の働く権利・働き続ける権利」「婦人の生活労働実態調査」など、女性の立場から、産休・育児休業の代替措置要求の取り組み。主任昇格活動から事務職員の昇進問題や、子育てをめぐっての組合での懇談会など、組合はいつも働く女性の問題と一体的に活動してきた歴史を紹介。また、2008年7月女性研究者支援モデル支援事業に採択され、「女性研究者と家族が輝くオンデマンド支援」として静岡大学の「男女共同参画」の現状と女性教員比率アップめざして活動を展開中。この教研集会会場のホスト校と仕事も多忙の中、歓迎するために理系女性教員さんが、過去の組合ニュースを基に、これまでの組合の活動成果を数字データも入れ、まとめられた特別報告。

国立天文台の男性教員の「男の子育て面白話（子連れの父親出張など）」と題して、現在息子さん6才と高校教員奥様の3人暮らしの中で、学会の保育室利用やホテルでの個人的に契約したベビーシッターを利用して、ご本人が発表する時間に依頼したなどの具体的な話。冷や汗をかきながら失敗ハプニング講演した経験談など6年間の子連れ出張、顛末記報告は今では笑える子育てを楽しく聞かせていただきました。

秋田大の工学部機械系の男性教員さんは2003年に誕生したお子さんの時、育児休業を1年間取得した経験、「なぜ、育児休業を取得しようとしたか」「周りの摩擦」「育児休業を取ったことによる影響、変化」など、その当時の同僚、人事課や給与係とのやりとりなど取得した経験を話されま

した。育児休業を取得したことにより、大学の男女共同参画の委員になったが、結果的には父親として、子どもへの好奇心、学習能力が学べ、さらに学生へも影響を与えることができた。サバティカル気分と軽い気持ちだったが、職場復帰後「産前休暇8週間」、「子どもの看護休暇10日間」、「育児参加休暇2週間」と参画委員としても組合員としても切実な要求を実現している。

最後に、名古屋大学の男女共同参画室長の教員さんから（元組合員さんで総長補佐）名古屋は男女共同参画推進室を立ち上げ、女性教員比率アップ、高校へのガイダンスなど毎年、愛知県や連合を巻き込んでシンポジウムを取り組んでいる先進大学。保育所設置運動に大奮闘されました。大学内に保育所の設置が多々ある中で、保育業者へ丸投げ方式でなく、しっかりと保育内容を検討し、保護者が大切にしたいことを守り、大学側が運営協議会を設置していること。更に今年7月からの全国初の大学内、夜9時まで学童保育所の開所についての経験と豊かな放課後となっている学童保育の紹介。教研集会は組合員さんならではの集まりで、学会や研究会とは違った雰囲気が私は好きですと、男女共同参画の仕事が終われば、早く組合員に戻りたいとても素敵な教員さんでした。

なお、岡山大は今年の夏休みから学内に長期休業日の開所の学童保育が実施。これで国立大で2つできたこととなります。

今回レポートが大変多く、討論の時間が少なかったのは今後の課題です。年々男性教職員が多く参加され、大学におけるさまざまな問題を男女ともに働きやすい職場にしたいと願っている組合員さんによる研究集会はあらためて感心させられました。事務職員や非常勤職員の問題も含めてあらゆる角度から検討している姿を男女共同参画分科会で見ることができました。

(長谷川)

